



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2019

No. 9 (2019年7月19日発行)

高1 SGH

高1CTP 日本語ディベート スタート ～説明会開催～

2019年7月18日(木)6限に、高校1年生の日本語ディベートの説明会が開催されました。高校1年生の学校設定科目CTP(クリティカルシンキング)では、1学期は5教科と連携した課題を学習し、2学期は5教科と連携した日本語ディベートを行います。そして、3学期は3教科と連携した英語ディベートとなります。

今回の日本語ディベートの説明会では、ディベートの大まかな考え方ややり方などを学び、2学期から実際に始まる日本語ディベートの役割分担などの準備を進めました。1年生の生徒たちは自分がどの論題に当たるのかが大きな関心事の一つとなりました。論題が決まると、2つの論点を決めようとグループで熱心に話し合いを始めました。肯定側と否定側に分かれて議論をすることで、より深く考えられるようになるはずで、夏休みによく準備をしてくれることでしょう。

2学期の日本語ディベートの予定

日にち	内容・論題	場所
7/18 (木)⑥	①全体説明会、グループ分け、テーマ、ゲーム予定日、対戦相手、サイドの等決定、ディベートの準備(スマホ可)	1年1~4組 教室
9/5 (木)⑥	第1回ディベート 試合グループ 論題:「日本は消費税率をさらに上げるべきだ」(地歴・公民的要素を含む)	1年1~4組 教室
9/12 (木)⑥	第2回ディベート 試合グループ 論題:「クローン人間は禁止すべきだ」(理科的要素を含む)	1年1~4組 教室
9/26 (木)⑥	第3回ディベート 試合グループ 論題:「方言は生き残るべきだ」(国語的要素を含む)	1年1~4組 教室
11/21 (木)⑥	第4回ディベート 試合グループ 論題:「数学のテストで計算機を使うことを許可すべきだ」(数学的要素を含む)	1年1~4組 教室
11/21 (木)⑦	第5回ディベート 試合グループ 論題:「日本の高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだ」(英語的要素を含む)	1年1~4組 教室

⑥は6限目、⑦は7限目を示す。

今回の日本語ディベートは4人によるディベートとなります。それぞれの役割は、立論、反駁、再反駁、総括の4つです。それぞれがとても大切な役割を果たしています。立論では2つの論点を明確に述べ、反駁では相手の論を攻撃し、再反駁では自分たちの論を守ります。そして、総括では全体のディベートを通して、自分たちの優位性を述べる役割があります。このすべての役割を果たすことで、ディベートがチームとして機能します。高校1年生の皆さん、健闘を祈ります。

高校1年生は地域課題研究と並行して行うこととなります。時間的に忙しくなるかもしれませんが、バランスよく活動して行きましょう。